ＮＩＥワークシート／小学校中学年～高校／社会、総合

神戸新聞 2021年02月08日 月曜日 面名 朝三社 １３ 23ページ

１億2700万年前の地層から

日本最古級の哺乳類化石

福井の博物館 新種か、下顎の一部発見

福井県立恐竜博物館は7日、同県大野市にある約1億2700万年前（白亜紀前期）の地層で、日本最古級の哺乳類の化石を発見したと発表した。新種の可能性がある。博物館は「恐竜がいた時代の脊椎動物の多様性を知る重要な資料だ」と説明している。3月中旬から展示する予定。

「真三錐歯類」と「トリティロドン類」（右奥）の復元イラスト（山本匠さん提供）

福井県大野市の地層で見つかった哺乳類「真三錐歯類」の化石の一部（福井県立恐竜博物館提供）

恐竜時代の研究に新展開も

化石は、長さ13・1ミリ、高さ5・8ミリの下顎の一部。2019年に見つかった。コンピューター断層撮影（CT）で分析したところ、3本の歯が残っており、うち2本に三つの突起があった。

この特徴などから恐竜の時代に生きていた哺乳類「真三錐歯類」と判明。現代のネズミくらいの大きさだったとみられる。同類は、福井県勝山市や石川県白山市でも見つかっているが、歯の形などが異なり、別種とみられる。

大野市の地層は、哺乳類の化石が複数見つかっている勝山市の地層よりも数百万年以上古い。また大野市の同じ地層からは、哺乳類と爬虫類の進化段階にある「トリティロドン類」の歯の化石も見つかった。

博物館の宮田和周主任研究員は「この地層をより詳細に調べることで、恐竜時代の生態系研究に新たな展開が生まれるかもしれない」と話している。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ【　　】

記事から言葉を入れていきましょう。

福井県立［　　］は７日、同県大野市にある約１億２７００万年前（白亜紀前期）の地層で、日本最古級の［　　］の化石を発見したと発表した。

化石は、長さ１３・１ミリ、高さ５・８ミリの［　　］の一部。

３本の歯が残っており、うち２本に三つの［　　］があった。

この特徴などから恐竜の時代に生きていた哺乳類「［　　］」と判明。現代の［　　］くらいの大きさだったとみられる。

また大野市の同じ地層からは、哺乳類と爬虫類の進化段階にある「［　　］類」の歯の化石も見つかった。